

2-5

社会参加

感動と地域の主役

音楽を活用し、高齢者の活動範囲を拡大する取り組み

沖縄伝統芸能エイサーで夢の大舞台へ！

特別養護老人ホーム 伊興園

発表者：相談員 丸山充功、ケアワーカー 松本嗣未	共同研究者：松永謙一
所在地：東京都足立区伊興3-7-4	共同研究者：野村大悟
TEL：03-5838-1500	E-mail：lko-jimu@busonkai.com
FAX：03-5838-1501	URL：http://www.busonkai.com/ikoen/

今回の発表の施設 またはサービスの 概要	伊興園は、特養・ショートステイ・デイサービス・居宅介護支援事業所・地域包括支援センターを運営し、各事業が連携を図り、地域に根ざした施設運営をめざしております。
----------------------------	---

〈取り組んだ課題〉

付近の芸術系大学からご指導頂いた音楽療法に、施設独自のプログラム・評価方法を加え、計画的に実施、音楽を活用することで高齢者の心身機能の改善、活動領域の拡大をはかる。また、職員によるエイサー演舞を通じて施設内全利用者に生きる力や感動を与えるとともに、さらに職員・利用者共に練習に取り組み、施設高齢者の社会参加、ならびに地域高齢者へ夢と希望を与えることを目的に、地域の主役として、地域イベントへ参加、夢の大舞台への出演をめざした。

〈具体的な取り組み〉

◎音楽療法への取り組み

- ・付近の芸術系大学からの助言・指導・評価
- ・音楽療法マニュアルの整備
- ・担当者会議の定期開催により、効果的なプログラムの設定とセッション後の全体評価を行う
- ・施設の特色を活かした独自プログラム（エイサー等）
- ・個別に目標を設定し評価、ケアプランへ連動

◎エイサー団による取り組み

- ①施設内行事にて披露（納涼祭・文化祭・忘年会等）
- ②地域イベント出演への取り組み
 - ・利用者様、職員共に一丸となり練習に取り組む
 - ・残存機能を最大限に活かし、個々の身体機能、認知レベルに合わせた動きを楽しみながら表現
 - ・音楽療法で音楽の楽しさを再認識し、使用した楽器等をエイサーに取り入れ披露

〈活動の成果と評価〉

◎音楽療法により

参加された参加者の表情、声や言語の表出、身体の動き、活動後の様子にポジティブな変化が見られた。満足感、達成感など、参加者一人ひとりの心身の活性化につながった。

◎エイサー団により

①施設内行事での披露

身近な所での力強いエイサー演舞と迫力のある太鼓の響きにより、生きる活力と感動を味わい、声や体や目の輝きでの応答がみられた。

②地域イベント出演により

出演を目標にすることで自分自身の生きがいや達成感が生まれ、日々の生活にメリハリができた。また、本番前の緊張感や舞台での一体感など、普段感じることでできない貴重な体験が多くでき、共に出演した仲間と生き生きとした高揚感に溢れていた。演舞を観た地域高齢者より、「出演した高齢者から勇気や希望を与えられた。」との、感動の言葉を多く頂けた。

〈出演が実現した地域イベント〉

あだち区民祭り・足立区文化祭リ-ｽﾃｰｼﾞ
飛鳥山さくらエイサー祭り・北区としま七夕祭り

〈今後の課題〉

◎音楽療法のさらなる充実と地域イベント出演の継続
持てる能力に応じた参加方法
要介護度の高い利用者様も参加

【メモ欄】